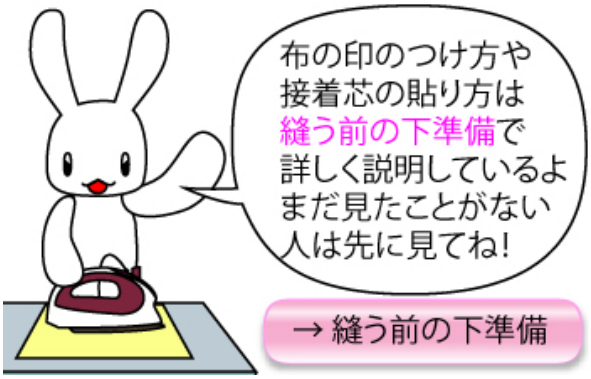
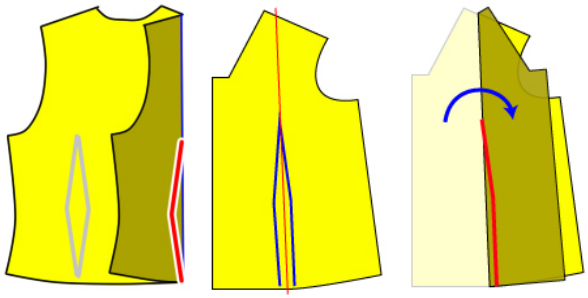
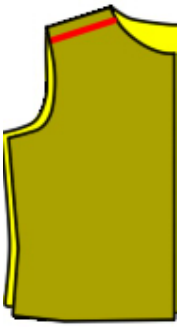


■表　■裏

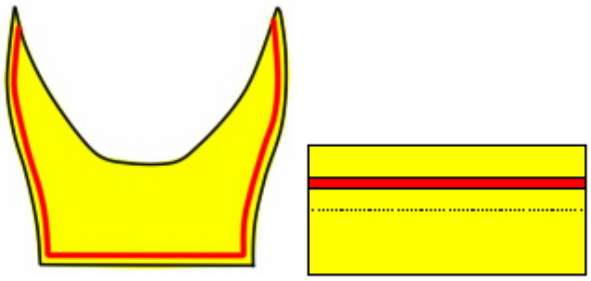
裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。
ヒートカットか切る前にほつれ止液を塗って乾かしてから切るときれいに仕上がります
洗濯をしないのであれば、木工用ボンドを水で薄めて塗ってもほつれどめになります。
※ヒートカットは化学繊維の布をヒートカッター（はんだごて）で布を切る方法です。天然繊維には使えません



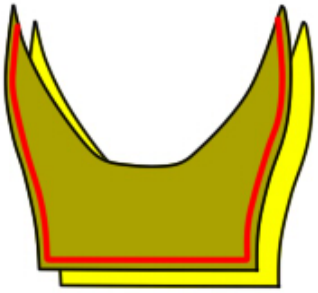
ダーツ（服を立体にするためのつまみ）を縫ってください。



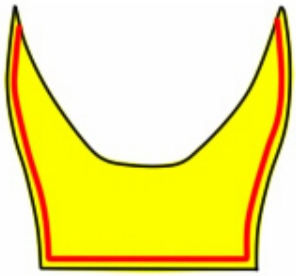
前身頃（胴体）と後身頃の肩を表同士が内側になるように重ねて7mm幅で縫ってください。



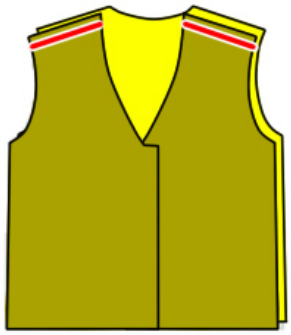
えりの部分とそでぐちにラインや柄などを入れてください。



えりを表同士が内側になるように重ねて、首元以外を7mm幅で縫ってください。

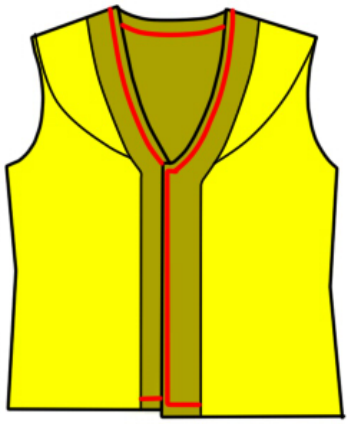


表に返して、端から3mmくらいの所を表から縫って固定してください。
あまり布のギリギリを縫いすぎると、ミシンの針穴にえりの先が食い込むので注意！！

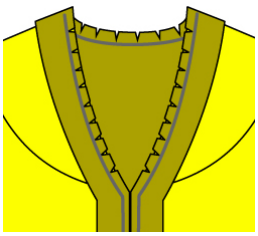


肩を7mm幅で縫ってください。

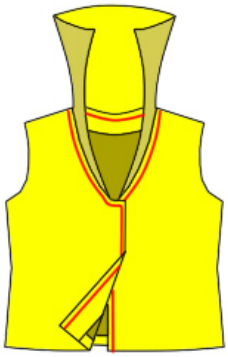
表にした身頃にえりを表にして重ね、えりくびを仮止めしてください。
仮止めなので端から5mmくらいの所を縫ってください。



見返しというパーツを裏が上になるように、身頃（胴体）の上に重ねて、7mm幅で縫ってください。



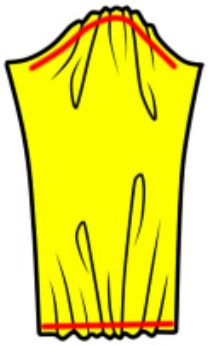
えりの縫い代に縫い目を切らないように切込みを入れてから見返しだけ裏に返してください。



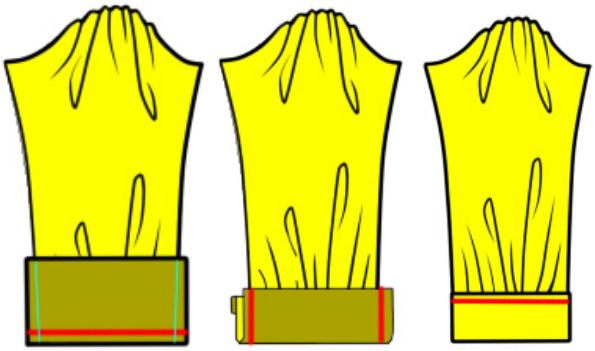
えりをよけて表から3～5mmのところをえりのカーブと前中心を縫って見返しを固定してください。

カフスをつける場合

カフスというパーツを半分に折ってアイロンで折り目をつけてください。

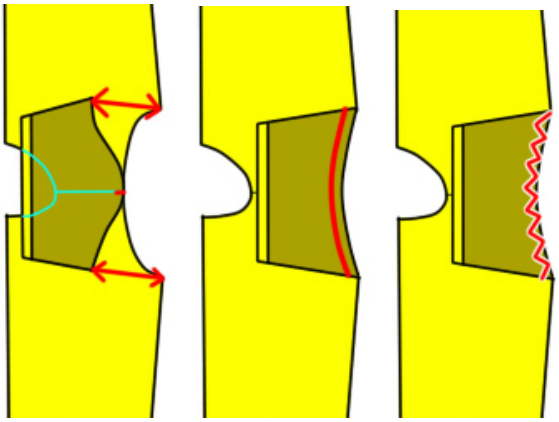


そで山（上側のカーブ）とそで口にギャザーを寄せてください。
画像は人間用の使いまわしなので2本ギャザーを入れてますが、でもドールは1本でも充分だと思います。

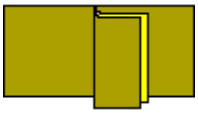


※糸調子を元に戻してください

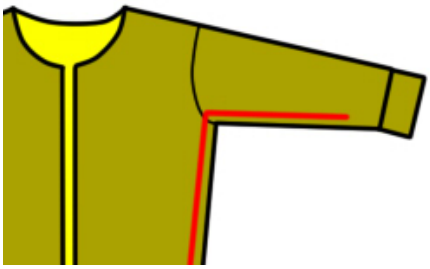
そで口に裏を上にしたカフスを重ねて7mm幅で縫ってください。
上で付けた折り目と逆向きにカフスを折ってください。
カフスの両脇を7mm幅で縫ってください。
カフスを表側にひっくり返して、袖口の縫い代をカフスの中に入れて表から直線で縫ってください。



そでを身頃と中表に重ねて7mm幅で縫ってください。
そでの縫い代をアイロンで身頃（胴体）側へ折ってください。



←お裁縫の用語でこれを倒すといいます。

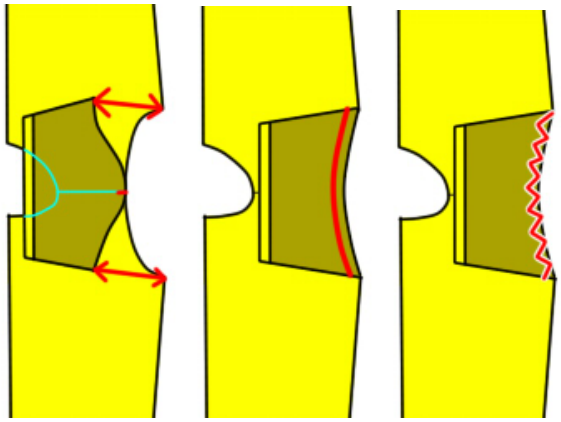


あきのあるシャツそでの場合そで口を5mm程度あけておき、そでの下から身頃のわきまでを一気に続けて7mm幅で縫ってください。
パフスリーブのようにそで口にあきのないタイプはそでの先から脇まで続けて縫ってください。

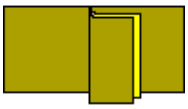
	 縫い代は左右に広げてください。 縫い代は手縫いかボンドで固定してください
	 すそを7mmアイロンで折り、5mm幅で縫ってください。
	前中心と袖のカフスにスナップを付けて完成です

半そでのつくり方

	そで口の縫い代を裏へ折り、5mm幅で縫ってください。



そでを身頃と表側同士が内側になるように重ねて7mm幅で縫ってください。
そでの縫い代をアイロンで身頃側へ折ってください



←洋裁用語で倒すといいます

そでの先から脇まで7mm幅で縫ってください。

いるもの

- □ 表生地
- □ 生地にあった色の糸
- □ お好みでリボンやレース
- □ スナップボタン　5個
- □ ほつれ止液かヒートカッター（はんだごて）
- □ 厚紙（ヒートカッターを使うときの下敷き）

オススメの生地

綿ブロード
薄くてシーチングに比べ張りがあります。
よく綿のハンカチなどに使用されています

ＴＣブロード
綿とポリエステルでできた生地
綿100%のブロードに比べシワになりにくいです

ポリエステルギャバ
ツイルの一種ですが、薄めでやや張りのある生地です。
軽さを出したいけど張りも欲しいというときに。